

江戸川区で 高次脳機能障害と 生きる

司会進行や
受け付けでの対応を
当事者が行います

平成28年度江戸川区
高次脳機能障害普及啓発講演会

12月4日(日)
11:00～15:00
(会場受付10:30～)

タワーホール船堀 2F 瑞雲・平安
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-1

入場無料
申込不要

11:00～12:30 講演会「江戸川区で高次脳機能障害と生きる」
江戸川区当事者 × 松本直之(支援者) × 長谷川幹(医師)

13:30～15:00 展示ブース紹介「当事者・家族会、福祉機器の紹介」
(展示は11:00～) 全10団体・企業による展示・体験会
Pepper を活用した言語リハビリの実演も予定されています(裏面参照)。



長谷川 幹

(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

高次脳機能障害の専門医。在宅の障害者と高齢者が、その人らしい生活を自ら実践することができるよう支援中。「リハビリ医の妻が脳卒中になった時」「あせらず あきらめず 地域リハビリテーション」など著書多数。



松本 直之

(地域活動支援センターはるえ野)

地域活動支援センターはるえ野に勤務。同センターが江戸川区より受託した「高次脳機能障害者支援事業」の事業担当。作業療法士。

問合せ：地域活動支援センターはるえ野

TEL：03-5664-6070 E-mail：info@soteria.jp

主催：江戸川区、地域活動支援センターはるえ野



高次脳機能障害とは、交通事故や頭部の外傷、脳梗塞などによって、脳に損傷を受けたために生ずる障害。「以前と人が変わったみたい」「なにもする気が起きない」「すぐに忘れてしまう」などの問題を引き起こす。厚生労働省によると、患者は全国に約三十万人、年間に数千人の新規発症があると推定されている。しかし、外見上では障害とわかりにくく、医療や保健福祉の領域でも十分に理解されているとはいえない。リハビリテーションには、医学的プログラム、生活訓練、職能訓練などが必要とされ、地域社会においても、正しい知識の普及が求められる。

出展団体・企業一覧

展示団体・企業	団体・企業概要	展示内容
1 江戸川つつじの会	「見えない障害」そう呼ばれている高次脳機能障害。だれもが、ある日突然、なるかもしれない障害。江戸川区の家族会として当事者や家族、地域社会への理解啓発を目的に活動を行っている。	平成24年発足からの活動内容の ・つつじだより ・写真 ・パンフレット
2 ハイリハキッズ	高次脳機能障害の子どもとその家族の会。隔月1回定例会を開き、家族間の情報交換や、子ども同士の交流を実施。どこにお住まいの方でも参加可能。	・ポスター 定例会等の様子 写真等掲載あり
3 ハイリハジュニア	中学生や高校生等を対象とした会の必要性を感じ、2013年2月に発足。主な対象は、高次脳機能障害をもつ 中・高・大学生・専門学校生とその家族。隔月1回土曜または日曜に定例会を実施。	・ポスター 定例会等の様子 写真等掲載あり
4 特定非営利活動法人 東京高次脳機能障害協議会 (TKK)	平成15年、6団体で東京高次脳機能障害協議会発足。平成19年12月、特定非営利活動法人に。現在、賛同し協力の加盟団体は、当事者会・家族会・法人含め28。当事者と家族のための事業活動を展開。	・高次脳機能障害の現状紹介 ・TKKの相談支援内容紹介 「ある日突然!脳を損傷!見えない障害を持つ事になったら、どうする?」
5 特定非営利活動法人 日本脳卒中者友の会	全国の脳卒中者とその家族、医療福祉関係者のための日本最大の脳卒中の患者団体。同じ仲間同士の交流による社会参加の促進と脳卒中の予防、基礎知識の啓発を目的とし活動している。	・ポスター 活動内容の紹介 ・ミニ懇親会を実施
6 特定非営利活動法人 日本失語症協議会	失語症等の言語障害のある個人や家族、団体によって組織されている。失語症は、言葉面で様々な困難がある。当事者・家族が、もう一步を踏み出せるような活動を続けている。	・日本失語症協議会パンフレット ・日本失語症協議会御案内 ・機関紙見本 ・教材紹介など
7 国立リハビリテーションセンター (自立支援局)	障害のある人の自立や社会参加を支援するため、医療から職業訓練まで一貫したサービス提供や研究開発、人材育成等を行っている。生活訓練では、高次脳機能障害のある方に支援を行っている。	・支援アプリ、機器の紹介 高次脳機能障害など認知機能に障害のある人を支援するためのアプリなど
8 株式会社ロボキユア	主に失語症向けアプリケーションを構築しているソフトウェア開発会社。Pepper向けアプリやタブレット用アプリを多数開発・運用している。〒103-0013東京都中央区日本橋人形町2-15-7高梨ビル3階 TEL:03-6661-2258	・Pepperを活用した言語リハビリ(呼称訓練)。患者に合わせたレベル変更やカード選択も可能 ・Pepperによる嚥下体操
9 株式会社モリトー	2017年に創業80年を迎える、移動・移乗・歩行訓練機器の専門メーカー。介護リフトつるべー、移座えもんシート、TAN-POPO安全懸架シリーズなど、多くの製品を開発している。	・ベッド～車いす移乗のほか、床面からも利用可能な介護リフト「つるべーY6セット(床走行タイプ)」の展示・体験会
10 有限会社パムック	オーダーメイドの車椅子の分野では関東No.1を達成。そのノウハウを活かした福祉用具のレンタル事業や住宅改修等、幅広いサービスを行っている。	・コミュニケーション機器の展示、体験会 ・移動支援機器の展示、体験会